



第

月の君ちりり秋るれやぐとを捨

山よりうりやせお様うい者ハ都

方れものふらぬお心ます、姨棄山所

忍れし程にこめ秋思百立を及まて

山乃月とあふりやとおひと  
乃行七 此程

志志うし様おれおり枕ぐさ立

物お中宿のあり言し行がとに

こゝを名よお小東科や姨棄山に看  
一ノ下一三三三

子くなく 我此町よきそ見れば

殿たりうたにーや万里れそも墨江

なく千里に限るふ月の夜さーとせ

あまのやうまきといふ様ーみ町ー

わささのいへ宵の月をふりあさや

あまの三行さあぐあれる様人多行

事所仰りそ 婦三行ーきやる山路も

見しぬうさふらそ女姓一人顯きそ

わたりまきとつ方給ふまじり物人

あさ海ーま次そ 乃三行くは文科の

者ひまうげなるふたふ秋のさうら

くろ、強急く月れ名のよに照るふ

天れ原くまる地四本れ新文郎に

〜

こよしの月れ面白くはむらし

ほくハコシきかれ人さくま一守

うやむ及ぶに姨棄れ在前さしりそ

乃福にくゆそ シテ 志し於山のるま跡

こ阿せ孫ふハ心ゆぬ ナレ りのる孫慰め

しひつ更科 詩 やむらまき山よ了月

とびつてと詠り一人の泣るらん是は

こたふ桂のま乃信より昔の姨棄

ままぢら泣にくゆそ 早 叔多一め

木のあけうしてまきまにれう一人

乃ちこれ 早 具まう出甲に埋まらう

るあ世とや今ま 早 ちり一泣し

人の 早 ち 早 概心多のるま 早 し

るま 早 ち 早 何とや 早 賢 早 ち 早 ち 早 ち

まじりけはまゝれ 房の身なり 七  
燿乃心 今もくもなくさめ 一  
文科や 姨棄山は夕多 一  
うりもまゝは木乃みとも 一  
秋の葉乃もや父はくく 一  
霧もころり風冷し 一  
てふりき出れきし 一

レ子

備様人まじりくぐり行なり 一  
やほおゆそ 一

レ子

あ〜々つゝはま目にまに 一  
様人乃、夜を耐り 一  
夜をなしくさし 一

レ子



乙  
 の折しりりかか那なああ面白面白の折しりりか  
 あけあるる又又ななの半半ももききささぬぬるるじじ膏膏  
 乃乃月の折しりりたたののささららささららたた  
 秋秋ちちららししひひててたたくくいいるる地地ををししらら  
 月月ののささららたたみみもも覺覺ええぬぬほほとと小小隈隈もも  
 乃乃姨姨桑桑山山のの秋秋のの月月ああままららににああるる  
 ぬぬ心心ととややびびししたたみみももおおももりりぬぬ

乃乃わわぬぬききわわるる歌歌ももああららるる月月  
 の折しりり白白衣衣の女女人人ああららるるにに終終ふふハハ  
 夏夏ののししららぬぬははつつらられれ夏夏とと反反  
 乃乃わわ夕夕言言はは顯顯れれしし老老乃乃姿姿恥恥しし  
 乃乃ああららるる事事りりしし何何ををううつつ見見ゆゆふふ  
 乃乃ししららるる前前のの姨姨ももききらら乃乃山山ハハ若若  
 乃乃女女乃乃飯飯所所のの昔昔よよううはは杖杖ををおお乃乃

月ツキのノ人トまとおのて一早ニと一ふと  
花ハナのノあらふニ寸ニ袖ニのノ露ニのノこもと一と一  
乃ノ夜ニぢレ人トはニツクるニれニそレめクうツ  
さサやニ盛ニ少ニけニさレ女ニ帝ニぢレくニ葉ニ  
衣ニ志ニはニたニまニそニぎニくニにニ捨ニらニしニ  
福ニれニちニをニちニくニてニ又ニ姨ニ棄ニ乃ニ山ニはニちニくニ  
だニもニやニをニ文ニ科ニれニ月ニにニ見ニぢニらニるニもニ恥ニづニ

一ニもニどニうニ一ニかニおニ甲ニもニ多ニれニ世ニ乃ニ甲ニ  
心ニすニ一ニ思ニりニ一ニやニがニのニ草ニ花ニはニりニてニ月ニ  
まニとニてニあニりニこニしニ宮ニやニ真ニはニいニらニ  
まニさニあニりニげニらニけニらニてニりニ志ニをニ今ニのニ  
物ニとニ志ニらニれニらニるニ今ニ宵ニのニそニれニ氣ニ受ニ  
うニれニ志ニらニるニにニ月ニれニ名ニ前ニにニけニくニるニ  
あニれニとニ文ニ科ニやニ姨ニ棄ニ山ニのニくニもニあニらニるニもニ



一輪三子清光乃の計國にとて  
海崎とてれろ志うき及法仏乃の誓  
伊達勝芳をきれを起世の想取あま  
福寺信孫殿光明す志くはるす  
去ほとに三光西よむく事ハ衣生を  
しや西本よまうめいましうたあを  
うや月ハ波如來の右ハ陽徳とて

有縁をこもにみりひさをも起罪と  
うろむしう天上のちうう所う存故  
小大勢至と反号まごう天冠の百に  
ぢれれりらうくやき珠の臺乃較  
は地旁乃淨土をわくく玉珠接れ  
何のをと糸竹乃志うへちうくす  
心いりあうくもあまはちあまに



露乃まに中にあまのあまのあまのあまの  
 胡蝶のあまのあまのあまのあまのあまの  
 うせやむせ 昔のあまのあまのあまのあまの  
 宵の秋風才に志にくさあまのあまのあまの  
 とあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの  
 とあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの

やまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの  
 もあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまのあまの  
 捨られたる老女のあまのあまのあまのあまのあまのあまの  
 心まも又娘まも山まもあまのあまのあまのあまのあまのあまの  
 捨山とありにまも

